



みんなで「みんなが住みたいまち」へ —企業2社と連携協定を締結—

7月21日、(株)足利銀行と「地方創生の推進に関する協働・共創パートナー協定」を締結しました。行政と地方銀行、各々のノウハウの融合により良いまちづくりに取り組みます。

また、7月24日には、(株)瀬谷新聞店と「包括連携に関する協定」を締結しました。同新聞店の地域情報アプリ「ツムフル」などによる、役に立つ情報の発信強化等に努めます。

公立保育園でボランティア活動 —建物をもっと使いやすく—

7月5日、全建総連栃木県建設労働組合鹿沼支部により、ボランティアで公立保育園の修繕が行われました。酷暑の中、一件一件丁寧に確認し、31戸のレール・滑車などの部品交換や、網戸の交換、壁の塗装などを実施し、不具合を解消していただきました。

このボランティア活動は平成16年度から、毎年6月25日の「住宅デー」に合わせて長年実施している活動で、園児や利用者に喜ばれています。



鹿沼市消防署の隊員が関東の舞台で躍動 —女性隊員も大活躍—

7月17日、埼玉県富士見市で開催された「第54回消防救助技術関東地区指導会」に、鹿沼市消防署の救助隊員が出場しました。これは6月に行われた栃木県大会の「ロープブリッジ救出」種目で第2位の功績を収め、出場権を獲得したものです。

鹿沼市のチームには女性隊員が1名所属しており、大会当日は会場で大きな注目を集めました。隊員たちは日頃の訓練の成果を発揮し、鹿沼市の消防力を示す一日となりました。

鹿沼市公式YouTube【かぬまチャンネル】でショート動画を公開していますので、隊員の活躍をぜひご覧ください。



新・鹿沼宿 来場者400万人！ —さらなる賑わいを目指して—

まちの駅 新・鹿沼宿の物産館は、6月5日に、来場者400万人を達成しました。7月18日には記念セレモニーを開催し、400万人目とその前後のお客さんにかぬまブランドの記念品を贈呈しました。

オープン15周年を迎える同館はJAかみつがが運営し、市の農産物や特産品が人気です。観光・物流の拠点として、今後もさらなる賑わいの創出を目指していきます。

